



府中小学校だより

伊賀市立府中小学校
2023年 6月20日
NO.5 文責:林 康子

民間スイミングスクールを活用した水泳の授業開始

伊賀市では、府中小学校をモデル校として、民間スイミングスクール(ウエストスポーツクラブ)を活用した水泳授業を試行実施することとなりました。天候に左右されず環境の安定した民間プール施設で、計画的に水泳授業を実施することができ、児童が専門インストラクターから指導を受けることにより、泳力の向上をめざします。

また、教員が専門インストラクターから水泳の指導方法を学び、水泳指導力を向上させることも目的としています。今後、効果や課題などを総合的に検証し、来年度以降の継続や、その他の学校への拡大について検討されるとのことです。子どもたちからは「水が温かくていいです」「水の中に台をおいてくれたから怖くなかった」「めっちゃ楽しかった」という声が届いています。



学び、笑い、絆を深めた修学旅行

6月11日(日)、12日(月)に6年生は、鳥羽・志摩方面へ修学旅行にいきました。「海の博物館」で海女さんの歴史を学んだ後、「はちまんかまど」で実際に海女さんと会い、お話を伺いました。そして、海女さんに炭火でサザエやヒオウギ貝、ひものなどを焼いていただき、伊勢エビの味噌汁とともにいただきました。あまりにおいしかったので、「アジの干物はどこで売ってますか」と添乗員さんや水族館で尋ねる児童がいました。ホテルは「鳥羽シーサイドホテル」。食後は、鳥羽水族館の職員の方に来ていただき、ジュゴンやスナドリ猫などの珍しい生物についてお話を伺いました。次の日は、鳥羽水族館、志摩スペイン村と足をすすめました。全員が元気に参加でき、しっかりと学び、笑い、絆をふかめた修学旅行となりました。



本を読むことが好きな子どもに……

府中小学校のマニフェストに「読書活動の推進」を掲げています。本を読むとよいことがたくさんありますが、特に3つのよいことがあると思います。



- 1つめは言葉を覚えられること。本は人に何かを伝えるために書かれていますから、読むだけで、人に感情や理由や状況などを伝える言葉を覚えることができ、表現力が豊かになります。
- 2つめは、想像する力がつくこと。登場人物の気持ちや置かれている状況を想像して読むことで想像力が高められ、人の気持ちも考えられるようになります。
- 3つめは、集中力がつくこと。好きな本や楽しい本、感動する本に出会うと没頭して読み、自然と集中力が身につきます。

本を読むことが好きな子どもを育成するため、伊賀市の「読書活動推進プロジェクト」を受け図書館司書を配置し、図書室大改造を行います。また図書室や学級の冊数を充実させるとともに、どの学年でも定期的に読書や読み聞かせの時間を確保します。「いがぐり」さんのような専門の団体をお願いしたり、全職員で、さまざまな学年で読み聞かせをしたりしていきます。

6月21日は教職員の「お楽しみ読み聞かせ」

ねんたんとう いちかわ
1年担当:市川
ねんたんとう ひきの
4年担当:引野

ねんたんとう さとだ
2年担当:里田
ねんたんとう わかばやし
5年担当:若林

ねん くみたんどう わたなべ
3年1組担当:渡邊
ねんたんとう ふじたに
6年担当:藤谷

ねん くみたんどう やまおか
3年2組担当:山岡



校長室から

お昼の校内放送を聞いていると、児童の声でこんなニュースが流れました。「第76回カンヌ国際映画祭授賞式が開催され、日本映画『パーフェクトデイズ』に出演した役所広司さんが男優賞を受賞しました。パーフェクトデイズは公共トイレの清掃員の日常を描いた作品です。役所さんは、自身が演じた「平山」という人物について、『魅力的な男を書いてくれた』と話し、監督やスタッフに感謝しました」短い文章でしたが、内容がしっかりと伝わってきて、読み方も上手だな、誰かなと思い、放送室に行きました。5年生の男の子でした。「映画が大好きなんです」と一言。「好きこそものの上手なれ」と昔の人はよく言いましたが、その通りだなあと思った瞬間でした。今度、この映画をみようと思いました。

→ 出展「毎日小学生新聞」

